

高エネルギー原子核物理セミナー

RARiSセミナー

日時：9月11日（金）15時30分～16時30分

教室：C141

題名：高エネルギー重イオン衝突で探る
クォークグルーオンプラズマ相
ー 大きな原子核から小さな衝突系まで ー

講師：関口裕子氏
（理化学研究所 基礎科学特別研究員）

講演の概要

超高温・高密度状態では、クォークやグルーオンが閉じ込めから解放されたクォークグルーオンプラズマ（QGP）が形成される。RHICやLHCの重イオン衝突実験により、QGPは強く相互作用し、極めて小さな粘性をもつ流体として振る舞うことが明らかになってきた。近年では、陽子＋原子核衝突や陽子＋陽子衝突といった小さな衝突系でも、重イオン衝突と類似した長距離相関や方位角異方性が観測されている。本セミナーでは、QGPの研究を紹介するとともに、大きな原子核から小さな衝突系までの研究から見えてきた高温QCD物質の描像と今後の課題を紹介する。



高エネルギー物理学研究室では
LHC・ALICE実験、RHIC・sPHENIX実験、
EIC・ePIC実験、SuperKEKB・Belle II 実験など、
さまざま高エネルギー衝突実験に参加しています

興味のある方は
ぜひご参加ください！

高エネルギー物理学研究室
下村：maya@cc.nara-wu.ac.jp